

五月 日刊 磐城時報

編輯部 石城郡平野町新田十四
印刷部 石城郡平野町新田十四
發行部 石城郡平野町新田十四
電話 一四七
代印部 石城郡平野町新田十四
代印部 石城郡平野町新田十四
代印部 石城郡平野町新田十四

常磐各炭礦で

從業員の整理

本社重役が淘汰人員調査 二十五日頃までに發表

常磐各炭礦に於ける昭和五年年度夫々重役が來山し淘汰人員の調査に着手したが、來る二十五日頃までに發表を見る筈である。況と現内閣の緊縮政策に祟られ、前年度より一噸につき五十錢の安値であるため四月一日より各炭礦出炭の制限を行ふ事になつた。従つて就業者も現在の五建設する事となり六月午後一時分乃至一割を整理する事となつた。平野町三丁目事務所打合せのため各炭礦本社から二十五日を開く。

俱樂部建設

政友部會で 俱樂部建設 石城郡政友部會では政友俱樂部をつた、従つて就業者も現在の五建設する事となり六月午後一時分乃至一割を整理する事となつた。平野町三丁目事務所打合せのため各炭礦本社から二十五日を開く。

七日磐中を築立つ

榮ある百八十一名 優等生は九名

縣立磐城中學校第三十回卒業式は七日午前十時から同校講堂に於て舉行するが、優等生、精勤者等左の如し。

- 一、學業操行優良生 猪狩良彦、細島正夫、伊藤和衛、根本和、平、根本四郎、荻野謙一、中根武夫、村松義之、秋元藤之助
- 一、在學五年間正副組長勤績 根本和、細島正夫、根本四郎
- 一、在學五年間精勤 根本和、平、助川政射、渡邊弘、舟生保男、宮本義門、柏原正一

陸軍記念日の催來

三月十日は陸軍記念日に當るので石城郡在郷軍人分會では當四日正午頃石城郡磐崎村湯嶽か

日午前八時半平野亭に集合午前九時から松ヶ岡公園忠魂碑の拭掃を行ひ尼子亭で總會を開き山内、花澤各將校の講演後園遊會を催はす筈である。

優良鯉漁船表彰

本縣水産會における四年優良鯉鯉る筈で盛會を豫想されてゐる。

飲酒中口論して

同僚のクビを斬る 四倉署で非常線を張る 被害者は生命危篤

石城郡大浦村大字上仁井田鈴木ら發火し山林五十町歩を焼失したが、附近は植田警署で官行造林の計劃をなし下刈りの準備中であつた所を下刈り費五百圓が不用になつたと却つて喜ばれつゝ、論を始め出た所下刈り費五百圓に斬りつけ長さ五寸深さ一寸の重傷を負はせて逃走したので四倉署で非常線を張り捜索の結果五日朝捕し目下取調中である。被害者久男は大浦村木村醫院にかつぎ込んだが生命危篤である。

第三十回磐中卒業生

- 猪狩良彦、猪狩正八、伊藤弘、伊藤稔、伊藤和衛、生田傳一郎、磯上善春、井出和一、石川俊男、橋本正雄、林三郎、林恒男、端山幸男、長谷川馨、箱崎勇、西山保之助、西原武夫、西村原徳、細島正夫、殿木正男、巴健次、千葉惇、小野平七郎、小野幸一、小野彌、大平文夫、大平正夫、荻野謙一、岡山武、小濱常司、面川榮之助、大竹武三、渡邊毅、渡邊文郎、渡邊弘、渡邊俊夫、若松榮司、金成正二、金成龜太郎、金成兵衛、柏原芳夫、柏原正一、神谷辰、神谷清水

四倉濱に大敷網

資本金は三十萬圓

若手縣宮古町資産家坂本嘉平氏浮いてゐるのを通行人が發見届は三十萬圓の巨費を投じ四倉濱に沖一里の場所で大敷網を常設する事となり出願中の處置農林省より許可されたので目下準備中である。

佐々木氏母堂逝

町四軒町佐々木龍若氏母堂繁子刀首は永らく病氣のため療養中の處四日午後二時半死亡した。葬儀は七日午後一時自宅出棺青雲院に於て佛式により執行する。

老人の死体

平野町木町生命保險外委員小林房吉父金太郎(七七)は老衰のため歩行も困難であつたが四日正午頃行衛不明となり捜索中の處五日午前七時頃平野町新川町三十三番地内新川に溺死体となつて界の大魔術で開演した。

一夜九十圓

飲食店にた灸 中町南町飲食店千代の家事小林チヨは登樓した客某を無理に泊めて九十圓を費消せしめたので告訴により平署で取調中である。

天才嬢開演

四倉座は 四日より松旭齋天才嬢一行の世かけて待ちあぐんでゐる。

梅見に 杖曳く人々

選挙気分も全く失せた今日此の頃の平地は、日増しに春めき立ち松ヶ岡南麓の梅園は杖曳く人群でにぎはつてゐる。來月に入れば書入れの花時、花氣早な連中がもうポツ／＼と見準備に取かつた者もあり例年公園内に賣店、掛茶屋を開く連中の中には既に役場に「何しろ此の不景氣の中での選挙でせう全くメチャク」です、早く花でも咲いて呉れなくちゃ、こつちららの口が干上つちまいます」と、とんでもない喉を切つてゐる。勇肌を擡つてゐる妾達の商賣た者を扱つて見れば懐手でお札が飛込んで來るやうに思はれませうが、此の頃のやうちや全くとや切れませうよ、花でも咲けば少しは思も付くませうが、これは藝妓屋の女將、みんな深刻な不景氣に泣き出しさうな顔を見せてゐるが、それでも一ヶ月後に迫つてゐる花見時に當てのない望みをかけて待ちあぐんでゐる。

- 遠藤正一、遠藤剛克、江尻千男、野本孝雄、草野治郎、草野一、國井文吉、國井榮三郎、藤田敏也、熊谷格夫、矢内吉明、八代浩二、谷口武久、山内義五郎、山部頑治、矢部繁二、馬目英一郎、松田清、松田茂男、松井伊佐雄、松井元、松本正夫、松崎武勇、益谷好信、船生滿、舟生保男、福尾利尚、古内政雄、小松達也、小松主税、小松周一、小松正治、小松茂、小林重好、小林正義、倉川政芳、阿部延三、阿部善平、秋元貞彦、秋元藤之助、赤塚良平、阿部正有馬公男、佐藤一郎、佐藤弘道、佐藤幾要司、坂本誠、佐藤善介、坂本義果、坂本喜平、坂本徳治、齋藤馨、齋藤六郎、作山道男、作山勝吉、酒井恒夫、坂井四郎、齋藤治、坂本重頼、木田義雄、木村晃、北村東一郎、城戸泰正、水野龍雄、水野良吉、緑川貞雄、宮崎陽、水野市郎、宮本義門、志賀傳吉、首藤進、篠原壽雄、篠原鶴龜、白石由雄、東海林博、廣川登志雄、瀬谷洋一、鈴木忠次、鈴木孝平、鈴木良平、鈴木栄一、鈴木孝平、鈴木木芳正、鈴木進、鈴木泰夫、鈴木清、須藤甚一、助川兼夫、助川政射、杉山慈郎、以上百八十一名

俳句と人生

子規に從へば「俳句は文學の一部である、文學は美術の一部である、故に美の標準は文學であり、文學の標準は俳句の標準である、繪畫も彫刻も演劇も詩歌も小説もみな同じだといつてゐる。」

俳句は美を表現する一つの様式だ、つまり日本人特有の國民的な普通文學として全人民の生活様式の表現形式だ、俳句は自然禮讚に出發してゐるのだ、何でも美しいと見るのはその美の讚美する人間の心境の表れであつて、俳句は他の何れの文學よりも最も多く自然と萬象を讚美するところのものだ。

つまりキリストに讚美歌があり、佛敎に念佛があつてその信徒たちが喜びの時も悲しみの折りも必ずアーンと唱へる南無阿彌陀と高らかに唱へるのと同じやうに、俳句は日本國民が大自然をほめた、へる讚美歌である。

春雨やと唱へ、こがらしやと唱へるのも一つとして自然現象に對する感謝にあらざるものはない。

世の中が益々進歩發達して人智は益々敏智と利己の一点に宇宙のあらゆるものを從屬させねば止まぬかの觀ある科學萬能の時代に而も藝術が嚴として存在してゐることはこれだけ人生を美しく彩つてゐることか知れない、更に俳句が日本の國民的普通文學として存在してゐることは如何に日本國民の生活を潤ひあらしめてゐるかよ。

科學の發達進歩は宇宙の一切

ものを人間の前に征服させやうとしてゐるが、俳句の境地ではあらゆる草木魚介と雖も人間のために作られたものとは見ない、一莖の草、一穂の芒に至るまで何れも夫々の生命を持つてゐるのだといふのが俳句の自然觀だ。

貸家案内

五丁目 勤人向 四圓五十錢
長橋町 同 五圓五十錢
舊城跡一ノ丸同 八圓五十錢
柳町 同 六圓五十錢
白銀町 加藤營業所

すべてのものが人間のためになされたものであり、すべてのものを人間のために引きつけやうとするのが科學者達よ、觀から出發する科學者達よ、宇宙萬象からあらゆるものを取り去つたあとに残るものは小さかたし氣な人間ばかりになつてゐることを忘れてはならぬ。

佛國マルソー會社元話
生葡萄酒
マルソー・ブランク・白 1.10
マルソー・ルージュ・赤
良品にして安價發行飛ぶが如し
西村屋藥局

ハガキ集 (投書歡迎)
▲四倉町東部電力株式會社四倉營業所内の社員は近く大交送があることので社員中には毎日の仕事も手に付かぬ者さへある。(同情生)

六日寫眞替り 料金普通
日活江戸文學 現代劇
酒井米子 久々の主演
江戸名優 江戶名優
浮名 さんけ
南部章三、徳川良子、神田壽二、村田宏
松竹右太夫 大作
市川右太衛門 主演
捕物? 執事? 素手鉢
原尾久三 監督
長尾史録 監修

共済ト存共△ 融金ノ易簡△ 蓄貯ノ味趣△ 堅ト意識△
無城會
所取扱-所ル至△ 下込申モデ時何△ 下込申モデ時何△ 下込申モデ時何△
スマリ藥ヲ會ズエ絶△

平町田町(電話五一三番)
高久病院
醫學士 高久 忠
新潟醫學士 赤羽 菊
藥劑士 佐竹 菊
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
雄清 忠

カバン と 帽子
入學進級には
ゼビーツルヤへ
新しい丈夫な品が得られます
平町四丁目(電話一四〇)
にツルヤ

「まあ丈夫になつたわ」是れも平町七丁目の
熱心湯のお蔭様よ
「い、香りだわ……」そして湯銭の安い事、朝の十時から夜迄入つて
湯治の方は二階座敷料共で僅か二十五
「あらさう?! それではあたかもこれから毎日行くわ、そして丈夫な身体になるわ……」



萬病の靈藥
故長井博士の推獎せる
別府鑛泉 定價一圓也
地方一手販賣 平町五丁目
山野邊藥局

愈々御待兼の世界的大魔術
歐米歸朝松旭齋天才孃大一行
當る三月六日より午後五時花火合開演
入場料(各地一圓之處)大人三十錢 小人十錢
特別大勉強 小人十錢
後援 警署 警署 警署
平町各新聞 警署 警署 警署

無料 眼鏡 TOKIWAYA
無料檢眼開始致シマシタ
専門眼科醫師擔任
價富調整確 廉豐可調正
品品切時度 良商親即示
御客様本位
近視老視亂視遠視斜視
無料檢眼券 眼鏡部 電三三九
御利用下さい
平町一丁目 **常盤屋時計店**

一葉印刷所
母繁子永々病氣の處療養相叶はず本日午後二時半遂に死去
致候間此段御通知申上候
追て葬儀は来る七日午後一時自宅出棺
青雲院に於て佛式相替み可申候
昭和五年三月四日
男 佐々木 龍若
親戚 佐々木 節次郎
清水 廣政
總代 松本 喜作